

事業所名

川崎市南部地域療育センター

支援プログラム（短時間クラス）

作成日

6年

10月

1日

法人（事業所）理念	①充実した質の高いサービスの提供 ②地域に根ざした施設運営 ③人材の確保・定着・育成 ④法人の経営基盤の整備				
支援方針	①お子さんと保護者の方の支援を両輪と考えます。 ②個別的配慮のもと集団プログラムを中心に遊びを通し社会性やコミュニケーションの力を育てます。 ③お子さんの発達や特性を理解し、よりよい対応を保護者の方と共有しながら生活リズムや生活習慣を築き健康に過ごせるようお子さんの状況にあわせた基本的なスキルの獲得を目指します。 ④お子さんの持つ力を活かし様々な活動の中で経験を積み重ねる支援をします。 ⑤大人との信頼関係を軸にお子さん自身が表出や発信ができるよう支援します。				
営業時間	15時	0分から	16時	45分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康にすごせるよう、保護者と連携し生活リズムを整えるよう取り組みます。</li> <li>偏食への対応は保護者の困り感に寄り添い家庭や園の状況を踏まえ無理のない提案をします。</li> <li>身辺自立（着替え、排泄）は、年齢や状況に応じ保護者や関係機関の情報も得て自立に向けた取り組みを行います。</li> <li>大人の声掛けや促し、自分で気づき取り組むなど、達成目標に応じた対応（声掛け、視覚的な掲示、構造化等）で取り組みます。</li> <li>物や状況に合わせた体や手指の使い方や活動のなかで取り入れ、生活に必要な基本的技能の向上に繋がるようにします。</li> </ul>			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動・動作の改善および習得、筋力の維持向上を図ります。</li> <li>持っている視覚、聴覚、触覚などの感覚を活かせるよう遊びを通し支援を行います。また眼鏡、補聴器などの補助器具を効果的に活用し支援します。</li> <li>歩く、走る、くぐる、飛び、のぼる、さらにぶら下がることや道具を使う縄を飛ばすなどを通じ姿勢を保持する、上肢下肢の運動した動きの獲得、経験を遊びの中で行います。</li> <li>お子さんの状況をに合わせた運動あそびの中で、意識して身体を使うこと（粗大運動）を通し、視覚・聴覚・触覚・前庭覚・固有覚を統合的に活用できるように支援し姿勢保持や力加減、バランス感覚などの向上を促します。また、身体の機能だけではなく集中する力、持続する力、コミュニケーションの能力も繋げます。</li> </ul>			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害特性に応じた視覚、聴覚、触覚などを十分に活用し必要な情報を収集しやすいよう、色、音、絵、写真、道具を使い認知機能の発達を促す支援を行う。</li> <li>活動の中で情報を理解しやすいように視覚化（写真、カード等）用いて選択肢行動につなげられるよう支援します。</li> <li>活動プログラムを視覚的に示し（構造化し）、見通しを持ち、安心して落ち着いて自発的に行動できるように環境設定をします。</li> <li>集団遊びでは、ルールを言葉と視覚的に示す工夫し理解し、理解して意欲的に取り組めるように支援します。さらに「またやりたい!」「少し難しそうだけどやってみよう!」という意欲に繋がるよう、自ら取り組むことを大切に、「できた!」「やった!」という成功体験が積めるようにも支援します。</li> </ul>			
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉、できる表現方法（発声、身振りなど）を大人が受け止め応答することやより良い表現方法を伝えます。不適切な表現についてもより良い表現方法の見本を示します。できた時にはそれを受け止め人に伝え、伝わった経験を増やします。（そのことで望ましくない言動の減少にも繋がります。）</li> <li>活動の中に相手を意識することや、感情の言語化、表現の仕方を伝え個々に応じた表出の場面をつくります。</li> <li>自由遊びを含む全てのプログラム場面で想定し、その都度、望ましくない言動はその場で望ましい言動を伝えコミュニケーションが取れるよう、繰り返し丁寧に関わります。</li> </ul>			
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>安心できる関係性を作ることを基盤としそこから周りの状況にも気づき周囲への興味、関心、関わる支援をします。</li> <li>集まりや活動の中で表現の方法や相手との関わり方を知り、行動し社会性や人との関わる経験を支援します。</li> <li>お子さんの特性を理解しひとりひとりに合わせた声掛け、行動への支援を行う中で気持ちや感情の調整ができるように支援します。</li> <li>あつまりや集団遊びの中で、ルールや順番の理解など、周りに状況に気づき、合わせた行動が取れるように支援します。</li> <li>自由遊びでは、場や物の共有をする中で、対大人・対友だちとやり取りする機会を設定し、人間関係や社会性の基礎となる経験を積めるように支援します。</li> <li>一人で、相手と一緒に（大人、こども）、集団で取り組むことを活動の中で取り入れ社会性、対人関係の育ち、芽生えを支援します。</li> </ul>			
家族支援	保護者の困り事や悩み事の軽減 きょうだい児の通園時間での預かり 親子療育を通して、その場での助言、援助（子育てサポート） 保護者プログラム（懇談会・学習会）個別面談（家族支援）	移行支援		個別面談での進路相談 就学に関する情報提供	
地域支援・地域連携	園訪問支援 保育園、幼稚園の職員の見学 学校訪問 地域の支援級、支援学校職員の見学受け入れ 民生委員・児童委員の見学受け入れ センターとしての地域講座の実施等	職員の質の向上		療育センター研修（必須研修、新人研修、AED ケース検討等） 四療育研究発表会 通園研修 外部研修への参加等	
主な行事等	ファミリーコンサート 親子で遊ぼう会 あきまつり 成長お祝い会、卒園式				